

大自然の中で思い出を☆森&里山wedding推進事業

京都丹波ウエディングプロジェクト実行委員会

南丹広域振興局企画総務部企画振興室 西村友里

推薦理由

【アピールポイント(組織力の発揮)】

《企画振興室長:岩松 義秀》

①行政が主導でこういったタイプの企画をすすめる場合、地域バランスや公平性などの観点を考慮することから取組が制限されることも多い。今回の取組は、よそ者の視点を活かしPRしたいと、当初個人的な取組として動きはじめたことで、この指とまれ方式で企画や事業趣旨に賛同してくれる有力な地元メンバーが集まった。

②地元メンバーと対話を重視し進めたことで信頼関係ができスムーズに事業が展開した。

③プラットフォーム事業として多様な主体が事業の実施主体となっているが、実施主体自身が楽しんで、共通の目的に向かって活動できており、継続することが期待できる。

【プロセスの工夫、横展開が可能な点】

《アセッサー:副室長 上田 哲生》

・観光地化されていない地域の名所をPRすることになり、これまでの事業にはない取組となっている。

・フォトウエディングの写真をきっかけに、都会の若者に京都丹波のことを知ってもらうという仕掛けになっており、新たな層を京都丹波に呼び込むことにつながる。

・これまでにない視点から、若者の移住者の増加を図る施策になっている。



取組内容(1)

➤ 取組の分野 (該当に○、複数選択可)

創造的事業 ・ 府民サービス向上 ・ 業務効率化 ・ 職場環境改善

➤ 現状、課題

- ・自然や農村の原風景など京都丹波ならではの資源(たから)を十分にPRできていない
- ・京都丹波の有名な観光地以外の名所を十分にPRできていない
- ・様々な移住施策がすすめられているが、都会の若者に対するPR力に欠けている



➤ 目指す姿、状態

- ・都会の若者の結婚セレモニーの選択肢の1つに「京都丹波ウエディング」が入るのが一般的になっている状態
- ・多くの若者がフォトウエディングの地として京都丹波を選択している状態
- ・京都丹波ウエディングをきっかけに、地域の魅力や地元の方のあたたかさに触れ、京都丹波への移住を考える若者が増えている状態

➤ 取組の対象、顧客、ターゲット

- ・京阪神に住む若者
- ・結婚写真にロケーションフォトを考えている若者

➤ チーム体制、ネットワーク

- ・リーダー: 京丹波町地域おこし協力隊
- ・キーマン: 各地域振興会
- ・実行者: 地域の事業者(一棟貸しの宿、アロマエステサロン、農家民宿)、若手メンバー(京都丹波・写ガール隊、京都丹波・写メンズ)など

取組内容(2)

➤ 取組内容とプロセス

＜着想(気づき)～企画立案、事業化まで＞

- ・結婚式前に写真を前撮りするのが一般的
- ・挙式や披露宴を行わず写真撮影だけのフォトウエディングを選ぶ若者も増えている
- ・海外セレブの影響で自然の中での撮影が増加

→四季折々のすばらしい景色を楽しめる京都丹波には適した撮影スポットがたくさんある！
→フォトウエディングに適した撮影スポットをPRすることで、観光地化されていない名所をPRできる！

＜実行、実践の内容とプロセス＞

- ・地元の方に魅力に気づいてもらい、仲間を集めるため、イメージ写真を多数撮影
- ・賛同いただけただ地元の方と何回も会議

[地元の方との会議で決定した事項]

- ①単なる撮影で終了ではなく、撮影後に体験できるこの地域ならではのアクティビティをPRしよう！
(お食事どころ、体験など多数ピックアップ)
- ②地元だけでフォトウエディングや結婚式をコーディネートできる体制を構築しよう！



工夫したポイント

- ・魅力を伝えるため、自らモデルとなり撮影を重ねた
- ・地元の方のアイデアを取り入れるため、南丹市美山町と京丹波町の2つに拠点をしぼり会議を重ねた。
- ・様々な場面でこのプロジェクトの仲間を募った



工夫したポイント

- ・取組む側もやっけて楽しいことを重視
- ・わくわくする、楽しい企画でどんどん仲間を集めた
- ・地域にお金が落ちる方法をみんなで考えた

